

完了後の評価個表

整理番号	18
------	----

事業名	森林環境保全整備事業	都道府県	鳥取県
地域（地区）名	天神川 <small>てんじんがわ</small>	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
関係市町村	倉吉市ほか4町 <small>くらよし</small>	管理主体	県、市町、森林組合、森林所有者等
事業実施期間	H23年度～H30年度（8年間）	完了後経過年数	5年

事業の概要・目的	<p>本地区は県中部に位置し、南側に標高 1,000m を超える中国山地が東西に連なり、この山地を水源とする天神川が中央部を北上し、日本海に続いている。</p> <p>総土地面積 78 千 ha のうち森林面積は 53 千 ha（森林率 68%）で、このうち民有林面積は 44 千 ha と本地区の森林面積の 83% を占め、民有林の人工林率は 56% となっている。</p> <p>本地区は、三朝町<small>みささちよう</small>の小鹿地区<small>おしか</small>や倉吉市の今西地区<small>くらよし</small>に古い造林地がみられるほかは、比較的造林の歴史が浅く、人工林の齢級構成は、保育が必要な 7 齢級以下の森林の割合が 37 パーセントで、県平均 31 パーセントと比較してその割合が高い状態にあった。</p> <p>長年にわたる人工林の造成により森林資源は着実に増加してきている一方で、間伐の対象となる 3～12 齢級の森林の割合が 87% と、人工林の多くは未だ間伐等の施業が必要な育成段階にあり、引き続き適切な施業及び整備を実施すると同時に水源涵養<small>かん</small>等の森林の有する公益的機能を持続的に発揮させる必要がある。</p> <p>このため、本事業は、間伐等の森林整備及び作業道等の基盤整備により、良質の木材の安定供給を確保するとともに森林の有する多面的機能の持続的発揮を図りつつ、他事業と連携した間伐材の利用を推進し、地域資源の有効活用と地域の振興を図ることを目的として実施したものである。</p> <p>・主な事業内容 森林整備 3,257.12ha 人工造林、下刈り、雪起こし、除伐、枝打ち、 保育間伐、間伐等</p> <p>・総事業費 1,467,435 千円（税抜き 1,358,736 千円）</p>
----------	---

① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>令和 6 年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>事業着手以降、当初の予定よりも施業の集約化が進んだことにより、森林作業道整備及び保育間伐の施業量が増加したことを踏まえ費用便益分析を実施した。</p>
------------------------	---

	<p>総便益（B）25,235,938 千円</p> <p>総費用（C）3,668,534 千円</p> <p>分析結果（B／C）6.88</p>
② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐、保育などで3,257.12haの森林が整備され、水源涵養、山地保全等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・森林整備事業の実施により雇用の場が創出され、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林は、森林経営計画等により継続して適切に管理しており、良好な管理状況にある。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業により健全な森林が育成され、水源涵養等や山地保全等の森林の有する公益的機能が高度に発揮されるとともに、良質な木材生産や間伐材の利用の推進が図られている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>森林施業に資する路網の整備・連結によって、緩傾斜・中傾斜地では森林作業道を組み合わせた車両系作業システム、急傾斜地ではタワーヤーダなど架線系林業機械を主体とした作業システムの導入が可能となり、木材生産性の向上及び労働負荷、木材生産コストの低減が進んでいる。</p>
⑥ 今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐の対象となる3～12 齢級人工林面積の割合が非常に多く、間伐を主とした適切な森林整備の実施が必要となっている。また、高齢級の人工林を皆伐し再生林を行うことで森林の若返りを図り、適切な保育実施につなげていくことも必要である。 ・森林の有する公益的機能の維持増進を図るとともに、適切な間伐や高齢級人工林の皆伐再生林の実施を図っていくうえで、森林経営計画等に基づく適切な森林管理及びその実施に必要な路網を着実に整備していく必要がある。 <p>地元意見 （鳥取県）</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全等の公益的機能発揮に寄与するとともに、本地区での適切な保育実施等の森林整備が行われている。</p>
評価結果	<p>必要性： 間伐等の森林整備を通じて、森林の有する公益的機能の発揮が図られ、緊急性の高い森林整備の実施や持続的可能な森林資源の循環利用が図られていることから、事業の必要性は認められる。</p> <p>効率性： 広域森林組合による施業集約化が進められ、効率的な森林整備の実施が図られており、費用便益分析の結果からも効率性が認められる。</p> <p>有効性： 健全な森林づくりによる水源涵養、国土保全等の森林の公益的機能の確保はもとより、将来の優良材の安定的生産が継続して図られていることから、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：鳥取県

地域(地区)名：天神川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	10,543,282	
	流域貯水便益	1,593,691	
	水質浄化便益	5,846,840	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,857,742	
環境保全便益	炭素固定便益	646,285	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	748,098	
総 便 益 (B)		25,235,938	
総 費 用 (C)		3,668,534	
費用便益比	$B \div C =$	$\frac{25,235,938}{3,668,534} = 6.88$	

森林環境保全整備事業 天神川地域（鳥取県）

凡	例
計画区界	
事業区域	
整備箇所	

琴浦町

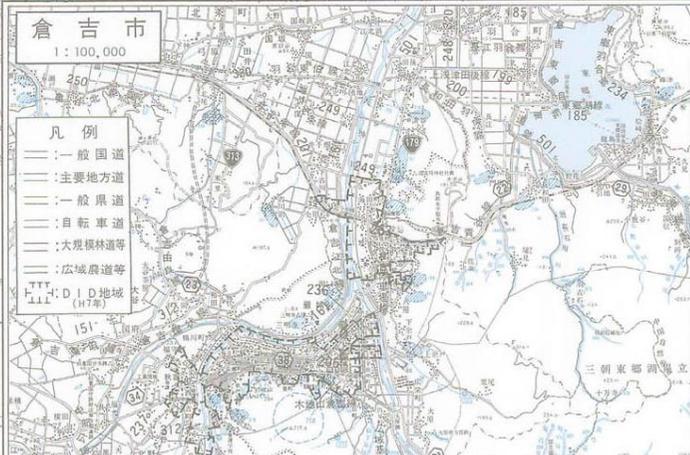
北栄町

湯梨浜町

倉吉市

三朝町

鳥取県全図



岡山県

富村